



男女平等指数(ジェンダー・ギャップ指数)てなあに？

日本の順位は調査対象 136 カ国のうち 105 位！(2013 年 10 月発表)

世界経済フォーラム(WEF)発表の「男女平等指数」とは、

1. 経済活動の参加と機会 (Economic Participation and Opportunity)
：給与、参加レベル、及び専門職での雇用
2. 教育 (Educational Attainment)
：初等教育や高等・専門教育への就学
3. 健康と生存 (Health and Survival)
：寿命と男女比
4. 政治への関与 (Political Empowerment)
：意思決定機関への参画

上記の 4 分野で「男女平等度」を測り、指数化したものです。

その結果日本は **105 位** でした。



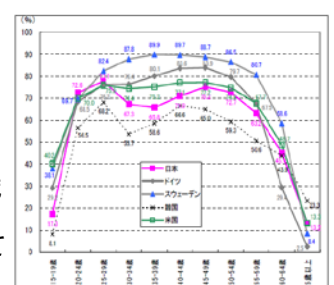
105 位は低いぞー！

ちなみに 1 位はアイスランド、2 フィンランド、3 ノルウェー、4 スウェーデン・・・14 ドイツ・・・23 アメリカ・・・69 中国・・・104 カンボジア・・・111 韓国・・・136 イエメンです。(相変わらず北欧が強いね)

日本は、教育では識字率や高校までの教育水準は世界 1 位ですが、大学や専門学校への進学率の低さが相殺して 91 位と、大学や専門学校への進学率で男女格差が伺えます。経済では 104 位、政治では 118 位、女性の就労者や政治家が少ないことが全体の評価を下げ、総合的に 105 位なのです。女性の就労者や政治家が少ないことに対して、平成 25 年版男女共同参画白書(概要版)は、①女性の年齢階級別労働力率が現在も依然として「M 字カーブ」で、結婚している女性の労働力率は低く、②女性就労者は非正規雇用が過半数を占めている、などを指摘しています。

M 字カーブ

日本人女性の就業状況の特徴を表す用語。学校卒業後 20 歳代でピークに達し、その後、30 歳代の出産・育児期に落ち込み、子育てが一段落した 40 歳代で再上昇し、アルファベットの「M」のかたちに似た曲線を描く傾向のこと。



図は、内閣府男女平等参画局のホームページより転載

「男女平等」を推進するためには、「男が仕事、女は家庭」という「性別分担意識」や、「男性が重要な仕事、女性は補助」という「性的固定観念」等の意識を変えることや「女性が働き続けられる社会環境作り」「アフーマティブアクション※」などが求められます。

※(差別是正措置: 受け入れ枠や目標を定めて、積極的に弱者を起用すること)

予告 第14回まちだ男女平等フェスティバル

※参加申込みは1/14～、詳細は1月11日
発行広報紙「男女平等推進センターだより」にて
(下記の他に催し物多数あり!!)

「生きよう！一人ひとりがその人らしく」

メイン企画

「トークイベント ダイヤモンド
☆ユカイさんと共に考えよう
～不妊・子育てについて～」

2014年2月1日(土)

10:30～12:00

町田市民フォーラム3階ホール

実行委員会企画

①「DVシェルター運動と共に」

2014年2月1日(土)13:30～16:00

4階 第1学習室

②「哲学対話ワークショップ

話そう、考えよう 子どもを持つこ
と 持たないこと」

2014年2月1日(土)13:00～16:00

4階 第2学習室

③「～昔話の主人公～

描かれる世界の夫婦」

2014年2月1日(土)14:00～15:30

3階 多目的実習室

④「町田市男女平等推進計画を進める
ために ～今こそ、男女平等推進
条例を～」

2014年2月2日(日)10:00～12:00

4階 第1学習室

＜女性に対する暴力をなくそう！＞我が国では「女性に対する暴力をなくす運動」が、毎年11月12日から11月25日(女性に対する暴力撤廃国際日)までの2週間開催され、様々な取り組みが行われます。運動の趣旨は、【1. 夫・パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクハラ、ストーカー行為等女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害し、男女共同参画社会形成の為の克服すべき重要な課題である。2. 暴力は許されるものではなく、暴力の現状や男女の置かれている我が国の社会構造の実態を直視するとき、特に女性に対する暴力について早急な対応の必要がある。3. 女性に対する暴力の根底には、女性の人権の軽視があるので、女性の人権の尊重の為の意識啓発や教育の充実を図る】等です。町田市男女平等推進センターでも「DV防止」の展示や、映画＆講演会(『スタンドアップ』:セクハラがテーマ)など行いました。

音シネマでトーク

素敵な映画をみて、あれこれ楽
しく話ませんか！ **無料**

場所:フォーラム3階 活動室

*1月14日(火)14:00～

「オール・アバウト・

マイマザー」

1999年(スペイン)101分

長男を亡くしたシングルマザーの
マヌエラは心の平穏を取り戻すた
めに、息子の父親を探しにバルセ
ロナへ旅にでる。そこで様々な女
たちに出会い希望を取り戻す。

*1月31日(金)14:00～

(※場所はホールです。)

「道」

1954年(イタリア)104分

少々頭の弱いジェルソミーナは死
んだ姉の代わりに旅芸人のがさつな男ザ
ンパノに買われ、いやいや旅にでる。
役立たずといじめられ、捨てられるが、
男は彼女が死んだ後、彼女の大切さに
気づき慟哭する。フェリーニの作品。

*3月11日(火)14:00～

「テルマ&ルイズ」

1991年(アメリカ)128分

平凡な主婦テルマとウエイトレス
のルイズは、共に週末ドライブに
出かけた。途中テルマが男たちに
レイプされそうになった時、ルイ
ズは男たちを射殺してしまう。犯罪
者となった女2人の冒険と友情を描
くロードムービー。

新刊図書紹介 <図書貸し出しやDVD・ビデオの視聴ができます！>

『私は、走ろうと決めた』リサ・J・シャノン 松本裕=訳 英治出版

ルアンダ虐殺に端を発するコンゴ紛争…この紛争によって虐げられた女性たちのために、著者は立ち上がる。-今やらなければ。「やるつもりだったこと」のひとつになってしまう前に-。「世界最悪の地」に自ら飛び込み、真っ向から立ち向かうことを恐れなかった著者が見た真実とは。今もお続く残虐行為に怯えながらも、懸命に生き抜くコンゴの女性たちの「強さ」と「美しさ」を描いたノンフィクション。

終了講座



お父さんと作ってみよう木のおもちゃ



父子でパティシエ！



働くために今日からやること



FPがアドバイスする
「高齢者に知ってほしい3つのこと」



女が「男職場」に入る時

これからの講座

子どもたちに伝える命の物語

12月21日(土)10:30～町田
市民フォーラム3階ホール。フ
ォトジャーナリスト・桃井和馬
さんを講師に招き、スライド講
演会を行います。子どもたち
に伝える「知識」と「知恵」を探
ります。

「女性の悩みごと相談」

☆女性のための身近な相談室として、電話による相談を受けています。

一人で悩まないで相談してみませんか。

受付時間…月・火・木・金・土曜日 9:30～16:00

水(第3水曜日を除く) 13:00～20:00

(日・祝日、年末年始はお休みです)

電話番号…042-721-4842 (相談専用)

